

国際ロータリー第 2650 地区ローターアクト 2016-17 年度

地区親睦会

第 2 回会長幹事会並びに部門別協議会

## 報告書



地区親睦会

2016 年 12 月 17 日(土) 福井パレスホテル

第 2 回会長幹事会並びに部門別協議会

2016 年 12 月 18 日(日) 福井県自治会館

ホスト 福井ローターアクトクラブ

提 唱 福井ロータリークラブ

国際ロータリー第 2650 地区ローターアクト 2016-17 年度

地区親睦会 プログラム

日 程：2016 年 12 月 17 日(土)

会 場：福井パレスホテル

ホスト：福 井ローターアクトクラブ

提 唱：福 井ロータリークラブ

(敬称略)

18:00 受付開始

19:00 開会宣言  
ローターアクトソング斉唱

地区ローターアクト代表	宮内 翼
ソングリーダー	
福井ローターアクトクラブ	五十嵐晴華

来賓並びに参加者紹介

地区ローターアクト代表	宮内 翼
-------------	------

地区ローターアクト委員長挨拶  
地区ローターアクト代表挨拶

ローターアクト委員長	宮本 研二
地区ローターアクト代表	宮内 翼

19:30 乾杯  
会食  
アトラクション

インフォメーション

21:20 ロータリアン講評

ローターアクト委員	中谷 昌紀
-----------	-------

21:25 手に手つないで

21:30 閉会宣言

地区ローターアクト代表	宮内 翼
-------------	------

国際ロータリー第 2650 地区ローターアクト 2016-17 年度  
 第 2 回会長幹事会並びに部門別協議会 プログラム

日 程：2016 年 12 月 18 日(日)  
 会 場：福井県自治会館  
 ホスト：福 井ローターアクトクラブ  
 提 唱：福 井ロータリークラブ

(敬称略)

9:00	受付開始		
10:00	開会点鐘・開会宣言 国歌・ローターアクトソング斉唱	地区ローターアクト代表 ソングリーダー 福井ローターアクトクラブ	宮内 翼 呂 英
	来賓並びに出席者紹介	地区ローターアクト代表	宮内 翼
	来賓挨拶 ホスト提唱ロータリークラブ会長挨拶 地区ローターアクト委員長挨拶 地区ローターアクト代表挨拶	地区幹事長 福井ロータリークラブ会長 ローターアクト委員長 地区ローターアクト代表	山本 等 佐々木知也 宮本 研二 宮内 翼
10:40	アクトの日報告		
11:30	会場移動 及び昼食 (各部門会場にて)		
12:40	第 2 回会長幹事会並びに部門別協議会(120 分) 第 2 回会長幹事会 A 部門「奉仕活動部門」 B 部門「会員増強部門」 C 部門「新入会員部門」 D 部門「例会作成部門」		
14:50	会場移動		
15:00	会長幹事会並びに部門別協議会報告		
15:40	ロータリアン講評 ニコニコ箱報告 ホストローターアクトクラブ会長挨拶 感謝状贈呈	ローターアクト委員 地区会計 福井ローターアクトクラブ会長	大角 安史 指宿 正太 船谷 恭平
16:00	閉会宣言・閉会点鐘	地区ローターアクト代表	宮内 翼

国際ロータリー第 2650 地区ローターアクト 2016-17 年度  
地区親睦会、第 2 回会長幹事会並びに部門別協議会

芳名録

(敬称略)

ご来賓

国際ロータリー第 2650 地区

国際ロータリー第 2650 地区

地区幹事長	山本 等
ローターアクト委員長	宮本 研二
ローターアクト副委員長	小牧 靖彦
ローターアクト委員	服部 亘
ローターアクト委員	北川 義洋
ローターアクト委員	村田 健二
ローターアクト委員	中谷 昌紀
ローターアクト委員	大角 安史
ローターアクト委員	須賀原和広
ローターアクト委員	田附 剛平
ローターアクト委員	山本 耕司

(地区幹事長以下アルファベット順)

提唱ロータリークラブ

国際ロータリー第 2650 地区

鯖 江ロータリークラブ

京 都 北ロータリークラブ

京 都 南ロータリークラブ

櫃 原ロータリークラブ

京都西北ロータリークラブ

福 井 東ロータリークラブ

京都伏見ロータリークラブ

京 都 西ロータリークラブ

幹事	帰山 秋朗
青少年奉仕委員長	岡本 圭子
ローターアクト委員長	増田 康男
副幹事	福永 莊三
ローターアクト委員長	高谷 謙次
ローターアクト・インターアクト委員長	松井 大典
青少年・ローターアクト担当リーダー	藤本 誠
ローターアクト委員長	中村 綾菜
ローターアクト委員長	山本 章雄
京都西ローターアクト委員長	山崎 功詔

(ローターアクト提唱順)

未提唱ロータリークラブ

国際ロータリー第 2650 地区

桜 井ロータリークラブ

会長	内田リカコ
幹事	北口 直司

(役職順)

## ホスト提唱ロータリークラブ

国際ロータリー第 2650 地区

福井ロータリークラブ

会長

幹事

ローターアクト委員長

ローターアクト委員

佐々木知也

石丸 敦史

土屋 道照

北島 恬

(役職順)

## 部門別協議会リーダー

A 部門リーダー

B 部門リーダー

C 部門リーダー

D 部門リーダー

パスト地区ローターアクト代表

櫃原ローターアクトクラブ O. B.

彦根ローターアクトクラブ O. G.

京都洛北ローターアクトクラブ O. B.

高谷 嘉一

喜多 一光

泉 乃梨子

沖永 陽祐

(部門別順)

## パスト地区ローターアクト代表

国際ロータリー第 2650 地区

パスト地区ローターアクト代表

金森 聖武

## ローターアクトクラブ O. B. ・ O. G.

国際ロータリー第 2650 地区ローターアクト

櫃原ローターアクトクラブ O. G.

福井東ローターアクトクラブ O. B.

福井ローターアクトクラブ O. B.

福井ローターアクトクラブ O. G.

福井ローターアクトクラブ O. B.

福井ローターアクトクラブ O. G.

池上麻衣子

宮島 良英

片岡正太郎

片岡 美香

橋 岳人

宮島千穂美

(ローターアクト発会・50 音順)

## 他地区ローターアクトクラブ

国際ロータリー第 2600 地区ローターアクト

地区広報委員

田村 洗樹

国際ロータリー第 2660 地区ローターアクト

地区ローターアクト代表

大角 慶規

大阪西ローターアクトクラブ

国際奉仕委員長

高士夏菜子

大阪御堂筋本町ローターアクトクラブ

国際奉仕委員長

毛尾 友紀

国際奉仕委員

西尾 真一

国際ロータリー第 2680 地区ローターアクト

地区ローターアクト代表

守本枝里香

国際ロータリー第 2820 地区ローターアクト

地区ローターアクト代表

大河原悠貴

(地区番号順・発会順)

## ローターアクトクラブ

国際ロータリー第 2650 地区

地区ローターアクト代表

宮内 翼

直前地区ローターアクト代表

山本 真菜

地区ローターアクト代表ノミネー

横山 敏之

国際ロータリー第 2650 地区ローターアクト

地区幹事

久保 愛

地区会計

指宿 正太

地区副幹事(ラックニュース)

西村みな美

地区副幹事(海外研修)

中山 知也

地区副幹事(アクトの日)

野村 耕平

地区副幹事(涉外)

大福 昭博

福 井ゾーン代表

清水 愛

滋 賀ゾーン代表

池田 庸平

京 都 北ゾーン代表

吉岡 美香

京都南 A ゾーン代表

佐藤 善紀

京都南 B ゾーン代表

野村 理沙

京都南 C ゾーン代表

宮田真優加

(役職順)

京都ローターアクトクラブ

小村 真由 内畑佐和子

千葉 優子

辻井 麻里

深尾 菜摘

大津ローターアクトクラブ

庄司 博洋

長浜ローターアクトクラブ

北川 真也

奈良ローターアクトクラブ

村上あずさ 岡本 浩実

奥田 竜多

下村 優登

前川 美貴

京丹後ローターアクトクラブ

羽賀 信策 田中 翔平

蒲田侑妙香

山崎 由唯

鯖江ローターアクトクラブ

宮本 智秋      伊川 晋平      帰山 駿      前田 貴大      山下 芝子

彦根ローターアクトクラブ

辰巳 嘉久      清水由佳里

京都北ローターアクトクラブ

米田 祐馬      八木 祥行

京都南ローターアクトクラブ

エミリー・スリオ      柴田 渚      石野 雄太      井上絵美子      大岸 優輝  
澤田 千紘      吉川 彰悟

綾部ローターアクトクラブ

山本 知弥      新宮 光洋      梅原さつき      田中 潤      羽賀 大哲  
前原 一貴      松尾 優介      吉崎 俊介

大野ローターアクトクラブ

毎川 景亮      小澤 亮輔      前田 浩男

橿原ローターアクトクラブ

植村 縁      千装 大紀      生野 美穂      小川 祐輝      福本 紗弓  
藤井 侑季      吉田 裕輔

京都東山ローターアクトクラブ

室岡 大介      串山 琴美      安田 瑞喜

京都西北ローターアクトクラブ

古川 修輔      黒川 知晃      植垣 智稀      西村里緒菜      前蘭 妃菜

福井東ローターアクトクラブ

沼 直久      池田 奨      川端 理照      塚田 槇子      出口 卓明  
羽川 充      牧野 真也

京都伏見ローターアクトクラブ

西塚 泰平      村下 仁嗣

京都洛北ローターアクトクラブ

内海 桂太      梶丸亜由美      原田奈央子      鈴木 聰志      松村 智之  
出倉 恵心

大和郡山ローターアクトクラブ

和田 幸恵      山和 由佳      大方 栄      大西 輝幸

京都洛中ローターアクトクラブ

室谷咲紀子

京都西ローターアクトクラブ

只野 杏奈      金澤 智維      辻村 翔平

京都紫野ローターアクトクラブ

吉田詩穂美      柳瀬 光沙

水口ローターアクトクラブ

伊藤 鈴香      赤塚 翔

京都洛西ローターアクトクラブ

森 真琴

(発会順・会長、幹事以下 50 音順)

ホストローターアクトクラブ

福井ローターアクトクラブ

船谷 恭平	天野真里奈	清水 美友	五十嵐晴華	小笹 誠
Nguyen phung Ha	阪井 里衣	坪川奈津美	Bae Jong Geun	三田村ひとみ
呂 英				

(会長、幹事以下 50 音順)



国際ロータリー第 2650 地区ローターアクト 2016-17 年度  
第 2 回会長幹事会並びに部門別協議会を終えて



国際ロータリー第 2650 地区  
幹事長 山本 等

国際ロータリー第 2650 地区ローターアクトクラブ 2016-17 年度第 2 回会長幹事会並びに部門別協議会が 12 月 18 日（日）、福井ローターアクトクラブのホストにより福井県自治会館において開催されました。

私も終日参加させていただき皆様の様子を拝見させていただきましたので、その時の感想を述べさせていただきます。

当日は、開会セレモニーに引続き 9 月 11 日（日）に開催されました各ゾーンの「アクトの日」報告がなされました。各ゾーンともユニークな奉仕活動を実践され、ローターアクターの意識向上を図るという意味では有意義な一日を過ごされたようですが、一方で多くのゾーンでは当初予定していた市民参加の人数が大幅に減少し、市民へのアピールという点では問題を残したように感じました。

「アクトの日」とは、1982 年に全国ローターアクト地区代表者会議で発案され、日本のアクターが同日に何かの奉仕活動を行い、市民の方々へのアピールや地区内のアクターの意識向上を図ることを目的とした日であるということを再認識しなければなりません。

今、ローターアクトクラブも我々ロータリークラブと同様、会員増強が喫緊の課題であり、多くの市民の皆様にもローターアクトクラブの活動に参加いただく中でローターアクトクラブを理解いただき、新しい仲間づくりに結び付けていくことが重要だと思います。ローターアクトクラブの公共イメージを如何に向上させるか、如何に多くの方々に参加していただくか、そして、より多くの仲間を増やしていくための方策を真剣に考えることが次年度アクトの日への課題ではないでしょうか。

終わりになりますが、この会議の準備に尽力いただきました福井ローターアクトクラブを始め関係者の皆様にご心より御礼申し上げますと共に、ローターアクターの皆様方の相互の親睦が一層深められ、地域社会の将来を担うリーダーとして活躍されますことを期待申し上げます。

## 国際ロータリー第 2650 地区ローターアクト 2016-17 年度

### 第 2 回会長幹事会並びに部門別協議会を終えて



地区ローターアクト委員長  
宮本 研二

第 2 回会長幹事会が 12 月 18 日（日）福井県自治会館において開催され、無事滞りなく終えることが出来ました。ここに関係各位の皆様のご協力・ご尽力に厚く御礼申し上げます。

ご来賓の山本 等地区幹事長をはじめ、提唱・未提唱ロータリークラブを問わず遠方からもロータリアンの皆様にもご参加を賜りました。

特にホストの福井ローターアクトクラブの会員の皆様には、様々のご苦勞をお掛けしたと思いますが、立派にやり遂げられました。今回のホストを通して有形無形の貴重な経験を得られ自己成長されたものと思います。

ご提唱の福井ロータリークラブの佐々木会長をはじめ会員の皆様の熱きご支援にも大いに敬意を表するものです。

前日の地区親睦会には地区内外からアクターが集い、情報交換・親睦・懇親の場として大いに活用されたのではないのでしょうか。福井の町も忘年会の人達でしょうか、夜遅くまで大勢の人で賑わっていました。私自身も越前の海の幸を堪能し、楽しいひと時を過ごすことが出来ました。

さて、12 月 18 日（日）AM に各ゾーンの「アクトの日」の活動報告がありました。「アクトの日」に参加されたアクターの皆さんの感想は如何ですか。満足な結果が得られましたか、残念な思いが残りましたか。単なる自己満足で終わらず、結果を一人一人が検証し、各人で解を見つけてください。

部門別協議会には残念ながら顔を出すことが出来ませんが、有意義な協議会になったことと存じます。

会長幹事会の感想として、前回は静かで粛々と終わって、今回は全体として会長幹事会らしくなったという印象です。その中で否決の議案が出たことは残念ですが、次回はより一層の丁寧な説明が望まれます。

結びにあたり、参加されたアクターの皆さんお疲れ様でした。今回の経験を踏まえ、下半期のアクト活動に活かさせていただきますよう祈念いたしまして、挨拶・感想とさせていただきます。

## 国際ロータリー第 2650 地区ローターアクト 2016-17 年度

### 第 2 回会長幹事会並びに部門別協議会を終えて



福井ロータリークラブ  
会長 佐々木 知也

本日は、国際ロータリー第 2650 地区ローターアクト 2016-17 年度の「第 2 回会長・幹事会並びに部門別協議会」をここ福井の地で開催できますことを提唱ロータリーとして大変喜ばしく思うと同時に、今回の会長幹事会および部門別協議会が成功裡に終わりますことを心より願ってやみません。ここ福井の地で地区内各地から多くのローターアクトの皆さんが一同に会し様々なテーマで議論できる出来ることは本当に素晴らしいことだと思います。

今回ホストをさせていただきます福井ローターアクトクラブは 27 年前に福井ロータリークラブの提唱により誕生しました。現在 18 名の会員で積極的な奉仕活動を通じて、さまざまな地域への奉仕活動とリーダー育成と自己修練の場として頑張っています。

アクトの皆さんは 30 歳定年という限られた年数の中で、ローターアクトの目的である個々人の能力開発に努め、奉仕活動や研修事業の実践を通じ会員相互の友情を深め、自己を磨き、自己成長を促す場になっています。さらに会員増強にも熱心に取り組んでいます。20 代の若い時期は失敗を恐れずいろんなことにチャレンジして、逆に挫折を大いに経験してほしいと思います。挫折は人生成功への絶対的礎になるはずです。そういう意味では今回お集まりの地区アクトの皆さんの活動が一生懸命に取り組むことで得られる知識や経験、そして出会いは必ずこれからの人生に生かされるはずです。

最後に、この会議の準備に尽力いただきました関係者の皆様に心より御礼申し上げますと共に、ローターアクターの皆様方の相互の親睦が一層深められ、地域社会の将来を担うリーダーとして活躍されますことを期待申し上げます。

国際ロータリー第 2650 地区ローターアクト 2016-17 年度  
地区親睦会・第 2 回会長幹事会並びに部門別協議会を終えて



地区ローターアクト代表  
宮内 翼

地区親睦会・第 2 回会長幹事会並びに部門別協議会のホストをしていただきました福井ローターアクトクラブの皆様、2 日間に渡り本当にお疲れさまでございました。

1 日目の地区親睦会では本当に多くの方にご参加頂きありがとうございました。年に一度、地区内の皆様が一同に集まり親睦を深めることができましたが、いかがでしたでしょうか。ローターアクトの魅力の一つである「親睦」があり、地区内では様々な業種に就かれている方がいます。この機会をきっかけに皆様の親睦がさらに深まっていれば幸いです。

2 日目の第 2 回会長幹事会では、午前中はアクトの日の報告会、午後からグループに分かれて部門別協議会・会長幹事会でした。部門別協議会では「奉仕活動部門」「会員増強部門」「新入会員部門」「例会作成部門」と分かれ各リーダーをお呼びし、開催しました。各リーダーを務めて頂きました皆様、お忙しい中、本当にありがとうございました。

会長幹事会では、第 1 回よりも皆様から質疑応答を沢山頂き、いい議論ができたのではないかと考えております。次年度の案件もあり、全体を通しましてとても有意義な時間だったと考えます。

この 2 日を通してご参加いただきましたロータリアンの皆様、そして O.B.・O.G. の皆様、ローターアクターの皆様におかれましては、この場をお借りして厚く御礼申し上げます。最後になりましたが、ご提唱いただいております福井ロータリークラブ様のご協力のもとホストを務めていただきました福井ローターアクトクラブの皆さまに深く感謝申し上げます。

国際ロータリー第 2650 地区ローターアクト 2016-17 年度  
地区親睦会・第 2 回会長幹事会並びに部門別協議会を終えて



福井ローターアクトクラブ  
会長 船谷 恭平

今年度福井ローターアクトクラブの会長を務めさせていただいております船谷恭平と申します。この度は、地区親睦会、第 2 回会長幹事会並びに部門別協議会をホストさせていただき、無事に開催出来ましたことを深く感謝申し上げます。

今年度当クラブは、クラブテーマ「ああ、素晴らしき 2017 年 6 月 30 日のわたしたちへ」の下活動をしております。このクラブテーマは、今年度の活動が終わった時、自分たちはスタート時よりも必ず成長していようという想いを込めました。今回このような地区行事をホストする機会をいただき、クラブ員一人ひとりが様々な経験をすることで、今年度のクラブテーマの目的通り成長をすることができたと思っております。

また当クラブは現在 18 名で活動しておりますが、他県での地区行事等に参加するクラブ員は限られています。今回地元福井での開催という事で、私はクラブ員のみんなに他のゾーンの方との交流を図っていただき、いつもとは違うアクト活動の良さを感じてほしいと思っていました。また逆に他のゾーンの方にも、当クラブの素晴らしいメンバーの事をもっと知っていただきたいと思っていました。今回、その想いを叶える事ができとても嬉しく思っています。この機会が、福井ゾーンと他のゾーンの皆様との益々の活発な交流に繋がっていただけたら幸いです。

最後になりましたが、ご協力いただきました皆様この度は誠にありがとうございました。

国際ロータリー第 2650 地区ローターアクト 2016-17 年度  
地区親睦会・第 2 回会長幹事会並びに部門別協議会を終えて



福井ローターアクトクラブ  
地区親睦会・第 2 回会長幹事会並びに部門別協議会  
実行委員長 坪川 奈津美

今回、地区親睦会・第 2 回会長幹事会並びに部門別協議会の実行委員長をさせて頂きました坪川奈津美と申します。

当日は宮本委員長をはじめと致します地区ローターアクト委員会の皆様、地区内外ロータリークラブの皆様、ご提唱頂いております福井ロータリークラブの皆様、O. B. ・O. G. の皆様、地区内外ローターアクターの皆様、お忙しい中ご遠方よりお越しいただき誠にありがとうございました。

実行委員長に就任した当時、ベテランで頼りにしていた先輩がみんな卒業され、地区行事に参加したことがないメンバーもたくさんいる中、本当にホストできるだろうかと不安がありました。有難いことに当クラブの会員数は地区内でも多い方ですが、ただその分出席率があまり高くなくことや地区行事ホスト経験者が少ない事から、どうすれば一部の人たちに作業が集中せず、みんなが役割を持って取り組めるのだろうと悩みながらの準備となりました。

色々な業種の会員がいるため、やはりなかなか全員が同じ量の作業をこなすという事はできませんでしたが、それでも仕事の合間を縫って打ち合わせに参加してくれたり、依頼した作業に懸命に取り組んでくれたり、当日が近づくにつれ、いっぱい、いっぱいになっていく私を励まし一緒に悩んでくれたりと、クラブの皆には沢山助けて頂き本当に感謝しています。のちの反省会でも話していましたが普段の例会だけでは築く事のできない新しい絆が生まれたと、クラブ員一同達成感に満ち溢れており、大変ではあったがホストして良かったと言ってくれました。実行委員長としてこれ以上の喜びはありません。

また近々クラブのレベルアップの為にも地区行事のホストに立候補しようと積極的な意見も出ていますので、その際はまた皆様どうぞ宜しくお願い申し上げます。

最後になりましたが、ご参加いただきました皆様への感謝と、皆様の益々の活躍とクラブの繁栄を祈願して実行委員長挨拶とさせていただきます。有難うございました。

## 第 2 回会長幹事会 議事録

2016 年 12 月 18 日(日)

12:40~14:50

於：福井県自治会館

多目的ホール

### 1. 参加者確認

(地区幹事 久保愛より)

本日の出席クラブが 23 クラブ/30 クラブ

→協議事項の可決には出席クラブの 4 分の 3 である 18 クラブの賛成が必要であることの説明

事前資料において協議事項としていた地区大会の件が報告事項となったことを伝え、協議事項より審議に入った。

### 2. 協議事項

#### (1) 第 1 項 会長エレクト次年度幹事予定者研修セミナー・第 3 回会長幹事会 (P1~P9)

ア 地区幹事久保愛より、事前資料からの変更点、事前質問に対する回答について説明した。

イ 地区副幹事大福昭博より、当日資料のとおり説明した。

ウ 質問・意見なし

エ 23 クラブ中 23 クラブが賛成。可決した。

#### (2) 第 2 項 会長エレクト会並びに指導者講習会 (P10~P14)

ア 地区幹事久保愛より、当日資料に基づき事前資料からの変更点につき説明する。

イ 地区副幹事大福昭博より、日時、場所、ホストクラブ等につき当日資料に沿って説明する。事前質問にあった現・次年度 RAC 委員長会議のご案内はガバナー事務所から発信となる旨説明する。

ウ 地区幹事久保愛より、現・次年度 RAC 委員長会議は、指導者講習会と並行して実施する予定であること、各クラブ提唱 RC への声掛けをお願いする。質問等問い合わせについては久保までと問い合わせ先を教示した。

エ 質問・意見の内容は以下のとおり

(ア) 京都洛西 RAC 会長森真琴が、「報告書の作成はホストが担当なのですか、報告書の予算が会長エレクト次年度幹事予定者研修セミナー・第 3 回会長幹事会のおよそ 4 倍となっており、外注費の内訳を教えてください、デザイン費が含まれていますか。」との質問があった。

これに対して、地区幹事久保愛より、「報告書の作成はホストにご担当いただいています。外注費、デザイン費が含まれているのかは不明です。」と回答した。

また、地区副幹事大福昭博より、「デザイン費が含まれているのかは不明だが、前年度のホスト京都洛北 RAC の決算書を参照して本年度の予算書を作成しました。」と回答した。

(イ) 京都洛西 RAC 会長森真琴が、「報告書の作成はホストであるならば、ホストである京都西北の従うべきで、前年度の実績は無関係ではないですか。」と質問した。

これに対して、地区副幹事大福昭博より、「現時点で、京都西北の方針は調査できていません。」と回答した。

(ウ) 京都洛西 RAC 会長森真琴が、「このまま採決でよいのでしょうか、このまま実施すると、さきほどの答えが採決に影響するのではないですか。」と意見した。

これに対して、地区副幹事大福昭博より、「協議事項の持ち越しは予定していません。」と回答した。

オ 23クラブ中14クラブが賛成。否決となった。

(3) 第3項 2017-18年度 地区年間行事・事業予定 (P15)

ア 地区代表ノミニー横山敏之より、当日資料記載のうち抜粋して説明した。

第1回会長幹事会レクリエーションは年度初めのため地区役員と各クラブの方々との懇親し、今後の活動につながるための機会を予定している、具体的にはバーベキューやボーリング等となる予定である。

国内研修、海外研修を実施する。両方の実施は、事前質問に対する回答にて回答したが、海外研修は登録料が高額であり、期間も長期となる、言語の支障があるため、国内研修の方が支障は少ないことが挙げられる。また、国内研修は他地区の方針・考え方を学び、相互に吸収ができる機会となるため両方を実施する。

次年度は当地区が関西四地区交流の会のホストである。地区が主導となるが、参加等ご協力をお願いしたい。

イ 質問・意見の内容は以下のとおり

(ア) 奈良 RAC 会長村上あずさが、「国内研修の実施が10月7日から同月8日となっています。この日は9日までの3連休だが、なぜ1泊2日なのですか。」

これに対して、地区代表ノミニー横山敏之より、「祝日が休みではないアクターもご登録いただけるような日程にしたためです。」と回答した。

(イ) 奈良 RAC 会長村上あずさが、「国内研修先を、なぜ、2710地区にしたのでしょうか。」と質問した。

これに対して、地区代表ノミニー横山敏之より、「2710地区は広島、山口で構成されている地区で、七地区交流会のホストを今年度する等盛り上がっている地区です。また、同地区は、独特の奉仕活動を実施しており、私自身も訪れて大変勉強になりました。バス移動にて訪問できる点も決定した際に考慮した点です。」と回答した。

(ウ) 京都北 RAC 会長米田祐馬が、「レクリエーションの対象は誰になりますか。」と質問した。

これに対して、地区代表ノミニー横山敏之より、「アクター全員です。」と回答した。

(エ) 京都北 RAC 会長米田裕馬が、「レクリエーションは、会長幹事会の前後どちらを予定していますか。」と質問した。

これに対して、地区代表ノミニー横山敏之より、「後を予定しております。午前に会長幹事会、午後にレクリエーションを実施する予定です。」と回答した。

(オ) 京都南 RAC 会長エミリー・スリオが、「勉強になる研修会をやってほしい。よってレクリエーションは二次会で実施すべきではないですか。」と質問した。

これに対して、地区代表ノミニー横山敏之より、「年頭での懇親に重きを置いているため二次会での実施は予定しておりません。」と回答した。

(カ) 福井 RAC 会長船谷恭平が、「福井からの出席のため、研修の集合時間につきましては、ご配慮いただきますようお願い申し上げます。」と意見した。

これに対して、地区代表ノミニー横山敏之より、「できる限り負担のないように集合時間の設定をいたします。」と回答をした。

(キ) 京都伏見 RAC 西塚泰平が、「国内研修担当地区副幹事を選任するとお聞きしたが、どのような役割になるのですか。」と質問した。

これに対して、地区代表ノミニー横山敏之より、「国内研修担当は、既存の海外研修担当地区副幹事と同様の役割を予定しています。」と回答した。

ウ 23クラブ中22クラブが賛成。可決した。

(4) 地区幹事久保愛より、協議事項全体につき、質問等がないか尋ねたところ、以下のとおり質問があり、これに対して回答した。

ア 京都北 RAC 会長米田祐馬が、「会長についてのスペースが会長エレクト幹事予定者研修セミナー・第3回会長幹事会と地区大会の案内文とで会長についてスペースが異なるが、書類の体裁は整えるのでしょうか。」



か。」と質問した。

これに対して、地区幹事久保愛より、「書類の体裁について特別指定はないので、改めて整える予定はありません。」と回答した。

イ 京都北 RAC 会長米田祐馬が、「文書の体裁についてルールを決める予定はないのでしょうか。」と質問した。

これに対して、地区幹事久保愛より、「幹事部門にて文書の取り決めを行っています。検討させていただき、次年度地区幹事予定者と相談し、ルールが決まれば、幹事部門にて紹介します。」と回答した。

### 3. 報告事項

#### (1) 報告事項第 1 項 2016-17 年度地区大会 (P16~P21)

ア 地区幹事久保愛より、地区大会について報告事項へ差し替えをしたこと、理由は決定事項が少ないため協議事項は避けしたが、重要な地区行事であるため現時点で決定している事項につき報告することとしたと説明した。また、具体的な審議は第 3 回会長幹事会にて行う予定である旨報告した。

地区副幹事大福昭博より、当日資料のとおり説明した。

イ 質問・意見の内容は以下のとおり

(ア) 京都 RAC 会長小村真由が、「前年度の地区大会において、京都 RAC のクラブ旗を持参したが、飾らなかった。不要の場合は事前に連絡がほしい。」と意見した。

これに対して、地区幹事久保愛より、「今年度は飾る予定ですが、会場の都合によっては飾らない可能性もございます。決まり次第、追ってご連絡いたします。」と回答した。

(イ) 京都 RAC 会長小村真由が、タイムスケジュールについて、「開会から祝電披露 45 分となっているが、その時間内に実施できますか。前年度はこれよりも時間が必要だったと記憶していますが。」と質問した。

これに対して、地区幹事久保愛より、「現状、45 分にて実施できる予定です。リハーサルを実施し時間内に実施できるよう努めます。」と回答した。

(ウ) 京都北 RAC 会長米田祐馬が、「会場はいつ頃決まる予定ですか。」と質問した。

これに対して、地区副幹事大福昭博より、「現在、12 月申し込みの会場が平成 29 年 1 月 8 日に、平成 29 年 1 月申し込みの会場が 2 月 1 日に、それぞれ、抽選結果の発表があり、この日程で決定する予定です。」と回答した。

(エ) 京都北 RAC 会長米田祐馬が、「万が一、どちらも抽選が外れてしまった場合はどのように対応する予定ですか。」と質問した。

これに対して、地区副幹事大福昭博より、「ホストクラブと協議します。」と回答した。

#### (2) 報告事項第 2 項 意義あるローターアクトクラブ活動賞【地区ローターアクト代表賞】申請書について (P22~P25)

ア 地区幹事久保愛より、当日資料のとおり説明した。ガバナー、地区委員長賞の申請フォームが異なっていることを報告した。

また、申請は、ゾーンごとに行い、申請書の作成は、ゾーン代表が行うこととなっている旨説明した。

イ 質問・意見の内容は以下のとおり

(ア) 奈良 RAC 会長村上あずさが、「どの事業を申請するのもゾーン代表が決定するのでしょうか。」と質問した。

これに対して、地区幹事久保愛より、「書類の作成のみゾーン代表が作成することとしており、どの事業を申請するかは、ゾーンごとに協議をお願いします。」と回答した。

#### (3) 報告事項第 3 項 アクトの日決算報告書について (P26~P30)

ア 福井ゾーンにつき、同ゾーン代表清水愛より、当日資料のとおり説明した。

また、事前質問があった、3 万円程度の残金の発生原因について、当初アクトの方で準備する予定であった掃除用具等を借りることができ、その分の支出を抑えることができたためである旨説明した。

質問・意見はなかった。

イ 滋賀ゾーンにつき、同ゾーン代表池田庸平より、当日資料のとおり説明した。

質問・意見はなかった。

ウ 京都北ゾーンにつき、同ゾーン代表吉岡美香より、当日資料のとおり説明した。

質問・意見はなかった。

エ 京都南ゾーンにつき、京都南 A ゾーン代表佐藤善紀より、当日資料のとおり説明した。

(ア) 質問・意見の内容は以下のとおり

京都洛西 RAC 会長森真琴が、「京都南ゾーンのアクトの日は完全に失敗したとみるべきで、ゾーン代表がほとんど機能していませんでした。次年度にしっかり引継ぎをしなければならぬと考えていますが、反省会等の実施もありませんでしたし、午前中の報告会においても失敗とその反省を報告すべきでした。しっかり反省して引継ぎができるのでしょうか。」と意見ないし質問した。

これに対して、地区代表宮内翼より、「ご指摘のとおり失敗したと評価されてしかるべき内容であったので、反省し、次年度に引継ぎをします。引継ぎの内容については、私だけでなく、京都南 A ゾーン代表の佐藤とも協議します。もっとも、すべてが失敗に終わったわけではなく、13 クラブ間やロータリアンとの懇親ができたといった点も見逃すべきではないとも考えます。」と回答した。

また、京都南 A ゾーン代表佐藤善紀より、「この度の失敗の原因は当事者意識の欠如、具体的には地区行事である京都南 ABC ゾーン合同アクトの日が失敗に終わることにより毎年恒例となっている 13RAC 影響がでないよう責任感をもって取り組むという姿勢を欠いていました。そればかりでなく、引継ぎも十分になされていなかった傾向も見受けられましたので、ゾーン代表マニュアルを作成して引継ぎを実施します。」と回答した。

(4) 4 項 地区ローターアクト代表事務局発信文書(P31~P41)

ア 地区幹事久保愛より、当日資料のとおり、それぞれ説明した。

(ア) ホスト立候補届については、地区行事の正式名称を記載するよう注意喚起した。

i. 質問・意見の内容は以下のとおり

京都洛西 RAC 会長森真琴が、「次年度の地区行事を今年度中に立候補するのはどうなのか、会員減少に伴いホストを務めるクラブが限られている中で、ホストに偏りがあると思うが是正措置について検討すべきではないか。」と質問ないし意見した。

これに対して、地区幹事久保愛より、「おっしゃった通りの現状はあるのですが、現時点では従前のとおり募集いたします。もう少し多面的に考えて、ローターアクト地区委員会においても検討します。」と回答した。

また、地区代表ノミニ横山敏之より、「現状を変更する予定はありません。集まらなければ、現時点では個人的な見解にとどまりますが、複数クラブホスト制、ゾーンでのホスト制を導入することも検討します。」と回答した。

(イ) 地区納入費については、できる限り早期の納入を呼び掛けした。

(ウ) 西南 RAC 休会に関して、改めて各クラブのフォローをゾーン代表中心にフォローすること、ご意見等は地区幹事久保愛までするようお願いした。

この点につき、地区ローターアクト委員会委員長宮本研二様より、西南 RAC 休会はとても残念であること、委員長が知ったときは既にガバナーへの休会届を提出済みであったこと、宮内地区代表と地区ローターアクト委員会に手 RAC を推奨するため地区内を行脚しているところでありアクターも横のつながりをもっていただき第 2、第 3 の西南 RAC とならないよう力を合わせて頑張してほしいとのお話を頂戴した。

イ 地区幹事久保愛より、報告事項全体につき、質問等がないか尋ねたところ、以下のとおり質問があり、これに対して回答した。

(ア) 京都西 RAC 会長只野杏奈が、「国際ロータリーの基準について知りたいのですが、国際ロータリーにおいては休会という制度があるのでしょうか。」と質問した。

これに対して、地区代表宮内翼が、「休会という国際ロータリーのルールはありません。そうすると、国際ロータリーの基準上は休会となるとクラブが終結となってしまいう可能性がありますが、当地区には特段終結すべきとのルールもありません。ローターアクト地区委員会としては、復会して欲しいと考えており、そのための措置として休会という制度を存続させていきます。」と回答した。

(イ) 京都西 RAC 会長只野杏奈が、「休会となったクラブに対しては、どのようなアフターフォローがあるのでしょうか。」と質問した。

これに対して、地区幹事久保愛より、「休会したクラブについては、提唱 RC 事務局様へラックニュース等の郵送する形で対応させていただいている。休会クラブの郵送先についてはレジスターをご参照ください。」と回答した。

また、滋賀ゾーン代表池田庸平より、「所属している彦根 RAC は、復会にあたって、ローターアクト委員会より、MU30 回は来てもらい例会の支援をしていただきました。その他のフォローも地区全体からありますので、復会のための手当は万全です。」と回答した。

#### 4. その他事項

##### (1) 第1項 APRRC 決算書 (P42)

ア 直前地区ローターアクト代表山本真菜より、当日資料のとおり説明した。

イ 質問・意見の内容は以下のとおり

(ア) 京都洛西 RAC 会長森真琴が、「今回のように、直前での資料提出だと吟味できないので、改善できないでしょうか。」と意見ないし質問した。

これに対して、地区幹事久保愛より、「今後、ローターアクト地区委員会にて検討させていただきます。」と回答した。

##### (2) 第2項 2015-16 年度地区大会決算書 (P43)

ア 直前地区ローターアクト代表山本真菜より、当日資料のとおり説明した。2015-16 年度 ザ・ローターアクトについて記載ミス等があり、現在対応中であるとし、確定したものからご報告する旨説明した。

また、前年度の全体決算書については、第3回にて報告する予定。

イ 質問・意見はなかった。

##### (3) 第3項 第3項 部門研修会・第1回会長幹事会決算書 (P44)

ア 地区幹事久保愛より、当日資料のとおり説明した。

イ 質問・意見はなかった。

##### (4) 第4項 アクトの日全体決算書 (P45)

ア 地区ローターアクト代表宮内翼より、当日資料のとおり説明した。

イ 質問・意見はなかった。

##### (5) 第5項 海外研修決算書 (P46)

ア 地区副幹事中山知也より、謝辞の後、当日資料のとおり説明した。

1名キャンセルとなった分についてキャンセル料を支出に計上したが、キャンセルに伴う返金があったためこれによりキャンセル料の支払いをした旨説明した。

イ 質問・意見の内容は以下のとおり

(ア) 京都西北 RAC 会長古川修輔が、「京都西北のクラブ員がキャンセルしたことによりご迷惑をおかけしたことを深くお詫び申し上げます。」と謝罪した。

(イ) 京都洛西 RAC 会長森真琴が、「提出された決算書は、予算との対比がないので適正に検討ができませんので、改善してもらえませんか。」と意見した。

これに対して、地区幹事久保愛より、「予算との対比については、第3回会長幹事会にてご報告いたします。」と回答した。

(6) 地区幹事久保愛より、地区行事の報告書について、実施された日の1か月以内に提出をするのが原則となります。挨拶文を集める等により遅れる可能性があるのですが、引き続きご協力をお願いいたします、適正化につ

きましては今後もローターアクト地区委員会にて協議、検討いたしますと述べた。

(7) その上で、地区幹事久保愛より、その他事項全体につき、質問等がないか尋ねたところ、以下のとおり質問があり、これに対して回答した。

ア 京都伏見 RAC 会長西塚泰平が、「次年度は、国内研修等の負担が課題になるためローターアクト地区委員会の人数について改めて検討して欲しい。」と意見した。

これに対して、地区代表ノミニー横山敏之より、「予算等の兼ね合いがありますが、しっかり検討いたします。」と回答した。

イ 大和郡山 RAC 会長和田幸恵が、「国内研修のスケジュールが決まったら教えて欲しいです。」と質問ないし意見した。

これに対して、地区代表ノミニー横山敏之より、「2710 地区が受け入れ、広島 RAC がホストとなります。事業内容は、平和学習と奉仕活動を予定しており、具体的な内容については今後検討することとなります。この場で申し上げられるとすれば、ディスカッション、NPO 法人の方の卓話といったものが事業の候補となり、決まり次第、ご報告します。」と回答した。

文責者：地区幹事 久保 愛  
京都南 A ゾーン代表 佐藤 善紀

部門別協議会 A 部門「奉仕活動部門」議事録

2016 年 12 月 18 日(日)

12:40~14:50

於：福井県自治会館

201 研修室

1. 参加者

- (1) アドバイザー 田附 剛平 様
- (2) リーダー 高谷 嘉一 様
- (3) 司会進行 西村 みな美 ・ 野村 耕平
- (4) 出席者 出席クラブの内、6 クラブより、7 名のアクターが参加した。

2. 議事

(1) メンバーの意識の差について

地区代表・会長・委員長などとして、一番難しい事はまとめる事である。

意識・目的・価値観の統一、アクト活動の優先順位を上げる事、方向性を与える事が難しい。

目的の違う者同士が集まっているため、方向性を与える事が一番難しい。

アクトに参加する者として、なぜ RC は RAC を作っているのか、目的は何かしっかりと知った上で活動すべき。

(2) 奉仕活動について（国際奉仕の場合）

奉仕プロジェクトの 6 つの重点分野（ローターアクトハンドブック参照）

①平和と紛争予防/紛争解決②疾病予防と治療③水と衛生

④母子の健康⑤基本的教育と識字率向上⑥経済と地域社会の発展

こういった重点分野から自分たちがどういった奉仕活動を押していくのかを考える。

単年度事業として行うのか、継続事業にするのかを検討する。

目標を立て、それを達成するためにはどういった例会をいつ頃するのかを考えていく

(3) 奉仕活動の重要性

奉仕活動が我々の根幹であり、最重要活動である。しかし、がっつりの奉仕活動であれば、他団体がある。そうではなく、なぜ RAC なのかというところを自身が理解し、伝えていかなければならない。

自己研鑽できるところが RAC の良いところである。

もう少し、意識を高めて活動していくべきである。

(4) 大和郡山の事例

スマトラ沖地震の際、マングローブの植樹・学校への井戸の寄贈を実施。

その後、学校の設立を 5 年後に行っている。

式典事業として実施。

・メンバーがキラキラとしている。

・本気でやろうと思えばここまでできるのだと思った。

・自主的にアイデアが出てくるのがすごい。

・しっかりとした意思疎通・共感・誘導・声掛けをどのように行ったのか。

・実際に現地へ行った際の資金的な問題はどのように解決したのか。

上記のような感想質問が挙げられた。

それに対し、回答があった。

- ・資金は、財務活動及び個人負担であった。

今の RAC は RC に甘えているところがある。あくまでも RC からの補助金は例会のための必要資金であって、活動資金は自分たちで稼ぐ必要がある。(→財務活動)

- ・「できない」という理由はいくらでもあるが、「できない」を「やる」方法を考える

→モチベーションを持っていく。

- ・親睦も大事である。(コミュニケーション)

- ・交流=学ぶ・知る機会

多くの情報・知識を得るために活動することで活動への糸口を見つけることができる。

- ・クラブ員全員が熱い人間ではないが、みんなつられて熱くなる。

- ・一回やっただけでは自己満でしかない。その後も継続的に行うことに意味がある。(次世代へ)

- ・奉仕活動を行って何を残すのかということまで考えると良い。

#### (5) アクト活動の良いところ

出合いが重要である今、アクトは良い場である。いろいろな年齢・性別・国籍の人がいる。

価値観・考え方の幅が広がる。ぶつかり合って人として大きくなるのがここではできる。

いろいろなことに挑戦することで成長できる。

こういったことが、アクトの一番の財産である。今成長できる場にいることを感じ、目先のお金ではなく、価値観を見出して欲しい。

30代になったガラッと環境が変わる。仕事・家庭ができ、身動きが取れなくなる。

20代の若いうちに海外に行き、様々な価値観を吸収して欲しい。

#### (6) 最後に

識字率向上をテーマに奉仕プロジェクトを立案、発表準備を行い、終了した。

2016 年 12 月 18 日(日)

12:40~14:50

於：福井県自治会館

203 研修室

## 1. 参加者

- (1) アドバイザー 中谷 昌紀様
- (2) リーダー 喜多 一光様
- (3) 司会進行 中山 知也
- (4) 出席者 出席クラブ内、6 クラブより、6 名のアクターが参加した。

## 2. 議事

(1) どこに、誰に、どうやって勧誘をするのか。

- ・長野は若者がいないので、苦戦している。ロータリーに協力を仰いでいる。
- ・自分の知り合い、知り合いを通じての方が入りやすいのでは？と考えている。楽しい例会を企画し、入りやすい雰囲気を作る。
- ・社会人、大学生ではなく、長期的に考えて子供達に呼びかける。社会人はすぐいなくなってしまうし、大学生は抵抗力が強いと思うので、子供達が楽しめるイベントを企画し、アクトを知ってもらう。
- ・個人的には、自分が勧誘したい人を勧誘してほしい。全力で楽しめるような例会や、例会自体に意味をもたせて企画しないと、響かないのでは、と考える。
- ・クラブ員各自が所属する学校・会社、友人・知り合い、に自分から声をかけていく。自クラブ内で会長がクラブを守るために、関わりのない会社（学校）にビラを配ったりしていたが興味を示さない人が多いことがわかった。なので、知り合いで繋がりのある人の方が紹介しやすいし、入りやすいと考える。
- ・ロータリアンさんの例会に行き、顔を知ってもらってアクトの宣伝をする。友人は興味を示す人もいれば、示さない人もいるので、ロータリアンさんからの声かけがある方が興味がなくとも参加してもらえるのでは、と考える。また、活性している他クラブの例会を知ってどんな例会が、みんなの興味を引くのか、自分も楽しみながら見学して学ぶ。
- ・自分はロータリアンに紹介してもらって入った。入会後は、クラブ員が各自強めに声かけをしてくれ、面白さを感じるようになった。そのような熱意が伝われば入会してくれるのでは、と思いました。あとは友人への宣伝、国家などを歌うので不安になる方もいるかもしれないが、友人がやっている安心感はあると思います。あと、友人紹介だと、馴染みやすいのでは？と考える。
- ・前年度の会長からの紹介で入った。その会長は、色々な企業に訪問して紹介していた。そのほかでは、ロータリアンからの紹介。綾部のクラブ員はほぼ、ロータリアンからの紹介である。

(1.5) リーダーからの意見

- ・友人・姉妹・親戚

声がかかりやすい。また、知人がいるから入ろうというきっかけが取りやすいと考える。

- ・O.B.・O.G.

O.B.・O.G.の方に相談し、見学への呼びかけを行う。

- ・提唱ロータリークラブからの勧誘

一番効果的であると考えている。企業派遣で入ってもらいやすい。また、ロータリークラブへの例会に参加して直接紹介を募る。

## ・インターアクト

関わりを深めて入ってもらう。実際、檜原ではインターアクトとの合同例会（土日の例会）で昼食を取りながらそれぞれの活動について語り合い、何かしらの関わりを持つ。

## ・アクトの日

アクトの活動についてPRする。一般人への声かけが行いやすい。

## ・その他

- ・奉仕プロジェクトにて広告を出す。広告を見た方からの連絡をまつ。
- ・声をかける方法はたくさんあるが、自主的に動くことが大切。
- ・目標を立てて、危機感がないと、勝手には増えない。
- ・動いた上で結果が出なかったら、ロータリークラブへの助けを仰ぐ。

(2) 見学者に興味を持ってもらえるよう、アクトの魅力をどう伝えるか。

### 【カテゴリ】 出会い・感動・成長・親睦

- ・アクトの活動の経験を伝えないと心に響かないのでは？と考える。
- ・アクトに入るまで、みんなで一つのことを成し遂げるといった機会がなかった。（自分一人で行くのが普通だった。）アクトに入って協力することを始めた。そして、自分の意思で大きな行事をまとめ、それをみんなで成し遂げた。成功を分かち合う嬉しさを知った。
- ・復興支援バザーなどは、アクト出ないとできないことだと思う。普段することができない経験ができたと思う。
- ・海外研修での世界のアクターとの交流、フィリピンテソン島の子供達との交流は、旅行じゃできない経験である。また、研修でアクターをホームステイで受け入れをすることもあった。

(3) 入会したばかりのアクターに対して、アクトを楽しんでもらうために、意欲的に参加してもらうために、どうケアをしていくか。

- ・オブザーバーでの参加で仲良くなれたので溶け込むことができた。自分自身は入会したばかりのアクターをフォローし、お節介してわからないことをケアして行きたいと思っている。
- ・大学生の頃は大人数の方と関わる機会がなかったが、先輩は声かけをマメにしてくれたので、楽しめた。地区行事は行きにくい、フォローを交え、行きやすく、楽しんでもらいたいと思っている。
- ・いろんなところに連れて行ってもらう。新入会員にとっていろんな行事にはいきづらと思うから、意欲的に参加してもらうには、自分たちが楽しそうに活動することが大切だと思う。
- ・アクトに入ってもらえることが目的になってしまえば表面だとケアまでできないので、人としてどう付き合っていくか、その人のことを思って一人一人に対して何をできるかを考えていくことが良い。入会の声かけ、アプローチの仕方でも考え方も変わる。
- ・アクトのいいことはクラブ員の仲が良いとこだと思っている。しかし、それがアダとなって新しい人は入りにくいのでは？と考える。自クラブの場合は、新入会員にあだ名をつけるようにしている。そうすることで、親近感を持ってもらい距離感を近づけることができると考えている。
- ・本当に、大変な時のフォローは、OB・OGの方をお願いします。新入会員の方の入会目的を聞きそれに沿った例会を行ってみる。
- ・自クラブは会員増強の強に力を入れていた。クラブ奉仕との協力で楽しめる例会を作成。
- ・新しく入会してくれた人は、何か目的や興味を持ってくれたから入会してくれたのだと思っている。そこを聞き出して親密に関わる。クラブの活動として、何をしたいかを把握する。
- ・動機を把握することは大切。メンバーがそれを知り、声をかけることが大事。また、お酒の力は偉大。

### (3.5) リーダーからの意見

- ・私自身は、先輩の声かけで入会を決めた。しかし、自分の時間が削られると思い、最初は活動に積極的ではなかった。しかし、クラブでのわからないことは親切に教えていただける関係を築くこと、先輩からのフォロー、例会の手伝いな



どを任せて、関わることでできることをしたいと思うようになる。つまり、役職が人を作る。と考える。役職を持ってもらうことでモチベーションを持ってもらう。このクラブのために自分で何かをしたいと思ってもらう。

また、新入会員担当を作るのもいいのではと考える。会長幹事以外のフォローが重要。

#### (4) グループトーク

a. 見学者（新入会員）に自分が伝えたいアクトの魅力を考える。

- ・国際交流・異業種交流・学生社会人の壁を超えての交流。
- ・いろんな業種の話聞き、その知識を得ることができる。
- ・ロータリアンさんとの交流。
- ・ロータリアンさんの経営している場所(ごはん屋)での例会
- ・人との繋がり
- ・卓話
- ・この歳でロータリアンになるのはほぼ無理だが、アクトは誰でも入会できるし、偉い人の話を聞け、知識をもつことができる。
- ・いろんな業種がいるから、専門知識を得ることができる。ストレッチ例会、法律の話や、年金の話
- ・ビアガーデン例会など楽しみながら、ロータリアンさんとの交流が図れる。
- ・ビアガーデン例会は、見学者が多い場合が多い。そこで、ロータリアンの方からの話を聞くことでためになると思わせる。それを、一次会、二次会と続くことで見学者を口口説きやすくなる。

b. その魅力を伝えることができる例会とは

- ・地区大会に出る、都会との交流・親睦
- ・ボランティアでの募金はなかなか経験できないことであるし、楽しみながらできる。

c. その例会をするに当たって、見学者を募る方法

- ・来るハードルを下げる。ローターアクトのことを口に出さず、参加料を下げる。(1000円で酒が飲めるよ)
- ・誰にでも声をかけるわけではなく、興味を出しそうな人を誘う。
- ・鐘と旗と歌は組織の帰属意識を付けるためにやる。鐘で始まり鐘で終わるとの説明。(宗教だと思われないよう)

d. 参加してくれた見学者（新入会員）に例会中に、例会後に留意すべき対応。

- ・近くにいて、意識して話しかける。
- ・思っていた以上に硬いと思われないよう、決断をあおがない。考える時間をもうける(もう一度きてもらえるよう、次に繋げるチャンスを作る)
- ・二次会が大事だったりする。例会中だけじゃ関りきれないため。
- ・自分の知り合いならいろんな人を紹介してあげる。

国際ロータリー第 2650 地区ローターアクト 2016-17 年度

部門別協議会 C 部門「新入会員部門」 議事録

2016 年 12 月 18 日(日)

12:40～14:50

於：福井県自治会館

602 会議室

1. 参加者

- (1) アドバイザー 村田 健二様
- (2) リーダー 泉 乃梨子様
- (3) 出席者 出席クラブ内、7クラブより、7名のアクターが参加した。

2. 議事

テーマ：アクトの向き合い方

- (1) ローターアクト・ロータリーがすごいと思ったこと
  - ・イベント等が豪華（会場や景品）
  - ・支援金が多く、理由が明確であれば大きなお金を使うことができる
  - ・様々な業種や年代の方と出会える
  - ・やったことの無いような仕事・業務をすることができる
- (2) ローターアクトでしてみたいこと
  - ・熊本震災の手助けをしたい
  - ・自分たちの仕事と絡めて楽しい例会をしたい
  - ・その土地ならではの例会をしたい
- (3) ローターアクトが自分にもたらす効果
  - ・人脈がひろがる
  - ・様々な経験や場所に行ける
- (4) ローターアクトと仕事とプライベート
  - ・時間の使い方・作り方を考えていきたい

3. まとめ

- ・ローターアクトとは・・・サークルのような楽しい事も真面目なことも経験できる場所
- ・ローターアクトの可能性・・・自分のやりたいことを実現できる場所
- ・意気込み・・・会員増強を頑張りたい

4. ロータリアン講評

- ・ローターアクトとは何か、知ることが目的
- ・これからの活動を楽しんでほしい
- ・自分自身が活動に積極的に参加してほしい
- ・地区役員や経験を増やすことで何か獲得できる

国際ロータリー第 2650 地区ローターアクト 2016-17 年度

部門別協議会 D 部門「例会作成部門」議事録

2016 年 12 月 18 日(日)

12:40~14:50

於：福井県自治会館

603 会議室

1. 参加者

- (1) アドバイザー 須賀原和広 様
- (2) リーダー 沖永 陽祐 様
- (3) 司会進行 宮田真優加
- (4) 出席者 出席クラブの内、7 クラブより、7 名のアクターが参加した。

3. 議事

(1) 各クラブに所属するアクターの人数の状況と入会理由

- ・伏見ローターアクトクラブはロータリアンさんからの紹介が多い。
- ・鯖江ローターアクトクラブの所属人数は現在 5 人。
- ・京都南は 19 人。学生が多い。(学生は紹介が多い。)
- ・京丹後の所属人数は 7 人から現在 11 人となった。

(2) 例会への出席

- ・2660 地区では、Google カレンダーの更新で、例会の内容を共有している。各クラブで Google のアカウントを持っていて、ホームページで、そのカレンダーを掲載しているため、それを見た人が遊びに来てくれる。
- ・人数が少ないと、魅力的な例会ができない
- ・京丹後は、最近は全員出席している。
- ・京都伏見、ほぼ全員出席している。

(3) 例会担当委員会の動き

- ・当部門出席者が所属するクラブのほとんどは、担当委員に例会を任せている。
- ・彦根は、そもそも 6 人なので、委員会として動いていない。
- ・当部門出席者が所属するクラブのほとんどは、テーマに基づいて、例会を決めている。
- ・2660 地区は、財務委員会は存在しない。

(4) リーダーが提案する例会作成のポイント

- ・①クラブテーマ ②委員会テーマ ③例会テーマ が決まっていれば、日にちを当てはめるだけなので、取り組みやすくなる。
- ・クラブ員が開くとのことを見学者へちゃんと伝えられる様に。を目指して、考えたのが事業計画。
  - ”事業計画書”の必要性
  - ・自分の想いを書くことが大事と考えた。
  - ・自分の考え方を書いた書面をメンバーに伝えた。

- ・見学者にもアピールできる
- ・準備段階の漏れを発見できる。

・2:6:2の法則を考えていた。団体を構成するメンバーの傾向として、やる気のある人員が全体の2割。やる気のあまりない人員が全体の2割。その他6割がどっちともつかない人員。

その他6割の内でもやる気のある側の人3割、やる気のあまりない側の人3割と捉え、後者の人員3割のやる気をあげることに着目していた。リーダーが所属していたクラブはその考えが引き継がれたのか、会長幹事が頑張らなくても、メンバーが頑張ってくれるようになっていた。”

- ・各事業計画書について。
  - ・絵写真を入れてわかりやすく
  - ・長期のプログラムが決まっていて、役割がわかりやすく、良い。
  - ・幹事が休んだ時に、動ける為にも良い。
  - ・しっかりと例会を作っているというアピールになる、安心感。
- ・テーマの次に、目的を明確にすることで、内容がブレない。

#### (5) 例会作成の具体的案

##### 【会員増強委員会例会作成】

- ・体験の要素を入れる。レクリエーションの要素を入れる
- ・目標として何人の見学者を呼ぶか決める。(例：一人1見学者をよぶ)
- ・ただただ遊ぶというだけではなくて、学びもある様に。”

##### 【社会奉仕委員会例会作成】

- ・ゴミにポイントをつけて、ゴミ拾いゲームをする。
- ・チームワーク、達成感、地域に貢献できる。
- ・ゴミ収集について費用がかかると思うが、予算内に納める。